

平成18年11月10日

5号機原子炉建屋における水漏れに関する調査結果について

当所5号機は定期検査中ですが、平成18年8月24日、原子炉建屋地下階にある、残留熱除去系*熱交換器(A)出口側配管に取り付けられた流量検出器のフランジ部から水の漏えいがあることを確認いたしました。

事象発生当時、熱交換器(A)出口側配管にある温度検出器取り替えにともなう耐圧試験のため、同配管内を試験圧力(4.8メガパスカル)まで上昇させていたため、当該試験を中断し、同配管内の圧力を低下させたところ、当該フランジ部からの漏えいは停止いたしました。

これまでの調査において、当該フランジ部に取り付けられたパッキン部からの漏えいと推定されることから、当面の対策として、当該パッキンを新品に交換いたします。

今後、原因を調査いたします。

なお、漏えいした水の量は約7.1リットル、放射エネルギーは約 1.9×10^6 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施いたしました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

(平成18年8月25日お知らせ済み)

調査の結果、当該フランジ部のパッキンは平成8年度(第15回)定期検査時に取り替えておりましたが、本事象発生後の点検において、フランジボルトの締め付け圧力の低下が確認されました。

このため、今回の耐圧試験において、通常の運転圧力(1.96メガパスカル)より高い圧力まで上昇させたことが原因で漏えいしたものと推定いたしました。

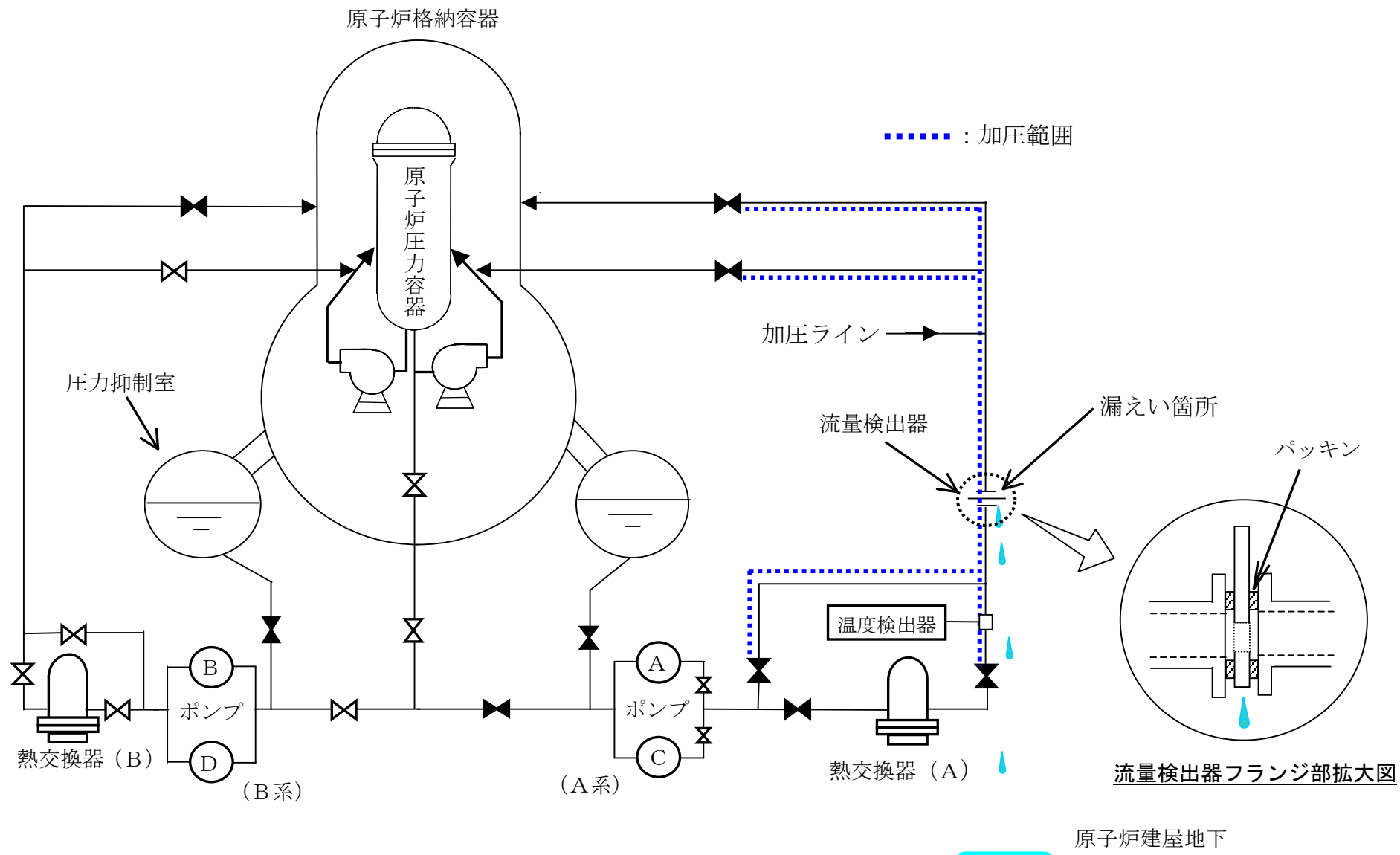
当面の対策として交換した当該パッキンについては、試験圧力にて漏えいのないことを確認いたしました。

今後、類似したフランジの耐圧試験を行う場合は、フランジボルトの締め付け状態を確認するとともに、要領書に反映いたします。

以上

* 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却(燃料の崩壊熱の除去)や非常時に原子炉水を維持する系統で、2系統(A系, B系)ある。



5号機残留熱除去系 系統概略図